

日本ビーチボール協会 会議報告書

件 名	令和8年度 第1回常任理事会
日 時	令和 8年 8月 8日(土) 9:05~10:30
場 所	オンライン(Zoom会議)
出席者	中屋会長・副会長 : 山内(愛知)、高橋(岩手)、奥井(奈良)、 林田理事長・副理事長 : 三箇(富山)、塚本(東京)、山本(滋賀)、及川(岩手)、藤原(新潟)、 須賀(埼玉)、狩野(島根)、西村(福岡)、児玉(長野) 常任理事 : 中村(競技)、高田(指導普及)、田中(審判) ※欠席 : 広島県 事務局 : 西岡事務局長、佐渡
会 議 概 要	標記の件について、会議概要を報告いたします。 1 あいさつ(中屋会長) ・ 今般の熊本地震により被災された方々にお悔やみ・お見舞い申し上げます。 ・ 各協会には、各大会を通じ、募金等の支援を行っていただきたい。 ・ ジャパンカップさいたま大会は、全力を尽くしてまいりたい。 2 協議事項 (1) 第33回ジャパンカップビーチボール選手権さいたま大会について 【実施要項(案)の決定】 ●日時: 令和9年3月20日(土)、21日(日) ●会場: 埼玉県越谷市 越谷市立総合体育館(18コート(メイン:12、サブ:6))、 越谷市立地域スポーツセンター(6コート) ・ 協議区分は、12カテゴリーとする。 ・ 参加申込期限は、令和8年10月30日(金)である。 ・ 参加資格は、次のとおりとする。 ⇒ 兼任審判制とし、チーム内には選手兼任または帯同するA級1名、B級以上1名を含む4名の有資格者がいること。 ⇒ ただし、A級審判資格者のいないチームは、B級以上1名を含む4名の有資格者がいることとし、別途定める金額を参加料と一緒に納めること。 ・ 参加料は、次のとおりとする。 ⇒ 1チーム 8,000円(日本ビーチボール協会未加盟チームは10,000円) ⇒ ただし、チームにA級審判資格者がいない場合は5,000円を別途追加で納める。 ・ 別紙として、追加費用の資料を提示したが、福岡大会の内容であったため、再度精査する。 ・ そのうえで、8月末に別紙を含めた実施要項の決定稿を発出(ホームページ掲載等)する。 【協議・決定が必要な事項】 ① 各カテゴリー別の参加チーム数報告 ・ 中村競技部長から、現時点における各都県協会の参加希望チーム数報告があった。 ・ 東京都は各カテゴリー別の区分までされていないが、全体で120チームの参加希望であり、全体で347チームの参加希望である。 ・ これは、あくまで仮調査であるが、参加希望チームは、ほぼ受け入れられると考える。 ・ 上記説明を受け、出席者からは、次の意見・質疑等があった。 ● 各都県協会において「ドント式での配分チーム数 > 参加希望チーム数」である場合、「ドント式での配分チーム数」まで参加チームを増加してもよいのか。 ⇒ 調整が必要となってくる。 ⇒ <u>8月30日(日)までに、各都県協会における参加希望チーム数を最終報告いただき、その報告を踏まえて「参加チーム数」枠を調整することとしたい。</u> ⇒ <u>「理事長会」のグループラインに報告いただきたい。</u>

会 議 概 要	② 優勝カップ及びレプリカの取扱い - 優勝カップの傷みが著しい。 「カップは不要である」というチームが多く、回収手配や配送料もかなりの負担となっている。 - これらのことから、これまでの優勝カップの取扱いは、さいたま大会で終了し、今後、撮影用に既存の優勝カップを使用し、レプリカを渡し切りにすればどうか。 <u>この場で結論が出ないのであれば、令和9年3月19日（金）開催予定の第2回常任理事会において最終的な意見をいただきたい。</u>
	③ 専任審判員の手配 - 専任審判員を1コートに1名、都合24名は配置したい。 - そのうち、埼玉県協会及び東京都協会の帯同・兼任審判員の比重をなるべく多くして手配していただけるとありがたい。 - 上記説明を受け、出席者からは、次の意見・質疑等があった。 ● この件に関する最終決定及び割振の連絡は、いつ頃になるのか。 ⇒ 専任審判員の必要人数を算出する。 ⇒ 10月末までに埼玉県協会及び東京都協会の帯同・兼任審判員数を把握する。 ⇒ これを受け、11月中に各都県協会に依頼し、最終的な割振りを行う。 ⇒ 田中審判部長から各都県協会の審判長に依頼する。 ● 福岡大会では2日目の審判の集合・受付・確認に手間取ったので、細部要項において受付体制をしっかりと周知しておくべきである。
	④ 開会式・閉会式への出席者 - 開会式は出席されるが、閉会式の参加が極端に減ってしまう。 - 閉会式には、日本協会の役員として1人でも多くの方に出席していただきたい。特別な事情がない限り出席をお願いしたい。 - 閉会式の表彰について、開催県の理事長よりは日本協会の方々から賞状を読み上げていただいた方が日本協会の大会らしいと考える。
	⑤ シャトルバス運行 - 会場間が遠いということから、当初、シャトルバスの運行を考えていた。 - アンケートを行ったところ、自家用車やレンタカーでの移動が多いことが分かった。 - このことを踏まえ、<u>シャトルバスは運行しないこととした。</u> 【その他意見】 ● 準決勝及び決勝における3セット目のラリーポイント制 - 第3回理事会において、埼玉県協会から、「怪我のリスク軽減の観点から、準決勝及び決勝の3セット目をラリーポイント制にできないか」という提案があった。 - このことを受け、「選手側としてどう思うか」と意見を聴いてみた。 - その中で、ほとんどの選手が「やはり準決勝以降も通常のサービスポイント制にしてほしい」という意見が多かった。 - その他、「3セット目をラリーポイントにするのであれば、15点ではなく、21点までにするといった対応にしてほしい」といった意見も一部あった。
	(2) ジャパンカップの甲子園化について - これまでの協議経過、甲子園化の意義・目的について、林田理事長から別添資料により再度説明された。 - 会場確保状況等について、中屋会長から説明があった。 ※ 8月6日（木）に「理事長会グループライン」であった別添「発出文書」参照 ⇒ 5月23日（土）の令和8年度定期総会以降、東京体育館の館長とも話を詰めていた。 ⇒ しかし、先行予約が1月に行われており、既に土日での東京体育館の確保が今非常に難航している。 ⇒ このまま動かないで月日が経つと、令和9年度のジャパンカップ開催に支障がある。 ⇒ ついては、<u>令和9年度における開催会場について、改めて、県協会の立候補を募りたい。</u> ⇒ <u>各協会でも検討していただいて、立候補していただきたい。</u> ⇒ <u>東京体育館における令和10年度の先行予約については、令和9年1月に、土日開催できるように会場確保する。日程が分かり次第、連絡したい。</u>

会 議 概 要	・ 林田理事長から、次の発言があった。 ⇒ 令和９年度については、何処かで開催をしなければならない。順番でいくと「富山県・新潟県・長野県」のブロックとなる。そこで、急遽ではあるが、今から可能であれば、令和９年度開催を検討いただけないかと考えている。 ⇒ ただ、この段になって、来年度の体育館事情となると、確保はに大変であろうと推察する。 ⇒ <u>このことから、令和９年度のジャパンカップは、奈良県で開催するということにしたい。</u> ⇒ <u>ご理解いただければ、明日以降、奈良県での会場確保に動きたい。</u> ⇒ 大会規模とすれば２５０～２７０チーム参加のもの、開催時期は２月から３月上旬が目途になると考えている。 ⇒ 大会運営は、日本協会全体で行う。 ・ 上記説明・提案を受け、出席者からは、次の意見・質疑等があった。 ● ５月２４日（日）の第２回理事長会時に「広島県で開催してもよい」旨の発言があったが、そのあたりの意向はどうか。広島県にもあたってもらえればよいのではないか。 ● 広島県の意見を聞く前に、開催するとは言えない。 ⇒ 広島県協会の宗永会長に確認したところ、「冗談である」とのことであった。 ⇒ 今後は、広島県から手上がるのを待つことにする。 ● 令和１０年度の先行予約を令和９年１月にされるということだが、確実に予約できるのか。 ⇒ 東京体育館とは東京都協会として３０年余の関係があることから、間違いなく確保できる。 ● 東京都内での会場確保について、例えば八王子などでの予約は、まだに合うのか。 ⇒ 令和９年度は、八王子や他の大きな体育館も確保できない状況で、可能性はゼロに近い。 ● 各都県協会は、体育館確保に苦労されている。令和１０年度開催に向け、東京体育館の確保に動いていただくが、万が一会場確保ができなかった場合のことも考えて、他の体育館も抑えておかなければならないのではないか。 ⇒ 不測の事態に備え、他の会場を確保するという考えは分かるが、会場のキャンセル料が発生する可能性も非常に出てくる。そこまでの財政上のゆとりがあるかが心配である。 ⇒ 今のところ、「令和９年１月に先行予約を確実に取っていく」としか答えられない。東京体育館で必ず取るというところに尽きる。 ● 東京体育館だけではなく、東京都内の他の体育館でもよいのではないか。 ● また、他県での会場確保も併せて考えていかなければならないのではないか。 ⇒ 仮に、３会場にエントリーして３会場とも許可された場合、３会場で大会を実施しなければならなくなる。 ⇒ 令和１０年度に関しても、１月に予約の可否が分かったタイミングでスタートが切れる協会がある方がよいと考える。 ● 令和１０年度に東京都で開催されるという形の中で、開催時期は何月を目指して会場を確保しようと考えているのか。 ⇒ これまで、２月又は３月で開催してきたことから、同時期に開催したいと考えている。 ⇒ ただ、昨今、スポーツ大会が過密スケジュールになっており、確保が困難となっている。 ⇒ よって、開催時期については、会場が確保できた時期で調整するという考え方も持っていたきたい。 ※ <u>林田理事長の提案もあり、令和９年度のジャパンカップは、奈良県で開催する。</u> ※ <u>令和１０年度のジャパンカップは、東京都で開催する。</u> ２ 理事長会からの報告・提案事項 （１）審判員年齢の引下げ（ジュニア対策）について ・ 審判員規程第６条第３項第２号中、「１５歳以上」を「１２歳以上（中学生）」に改めた。 ・ 当該規程の一部改正は、令和８年６月１日より施行した。 ・ 第３回理事長会において、田中審判部長より、審判員規程の改正について、次の発言があった。 ⇒ 審判員規程第６条第３項は「Ｃ級審判員の試験を受けることができる者は、次に掲げる要件を満たしたものとする。」とあり、第１号に「身体が健全である者」と規定されている。 ⇒ 審判員の中に難聴の方や指の一部欠損の方などがおられる場合、「身体が健全である者」で縛ってしまうと厳しい。 ⇒ このことを踏まえ、審判員資格取得に対し、制限を緩やかにした記載に変更していきたい。 ・ <u>記載文言案については、今年度中に検討し、３月の第２回常任理事会で提案したい。</u>
--------------------------------	---

会 議 概 要	(2) ビーチボールの普及派遣補助規定について - 当該規定を次のとおり一部改正した。 ⇒ 派遣指導員の補助対象を「3名以内」から「5名以内」に改める。 ⇒ 車借上代の金額は「5,000円」のままとするが、備考欄に「1台あたり（2台まで）」を追記する。（これにより、最大10,000円まで補助可能） - 当該規定の一部改正は、令和8年6月1日より施行した。 3 指導普及部からの報告・提案事項 (1) インストラクター認定会等について 8月末に、インストラクター認定会を開催する。 8月5日（水）に、東京都レクリエーション協会から派遣要請があり、小学校児童向けのイベントにインストラクター4名を派遣した。 4 今後のスケジュール等について 8月30日（日）までに、各都県協会における参加希望チーム数を「理事長会」のグループラインに最終報告いただく。 - その報告を踏まえ、「参加チーム数」枠を調整する。 - 第33回ジャパンカップさいたま大会における追加費用資料を精査し、提示する。
	※ 別添資料参照
備考	